

素足で「気持ちいい」

白良浜

観光関係者 50人歩く 新たな利用法探る

白浜温泉旅館協同組合（小竹理事長）は8日、白浜町の白良浜を

素足で歩く「白良浜素足ウォーク」を開いた。旅館や地元経済団体などの関係者、約50人が参

加し、砂の感触を味わっ

た。健康維持や増進の効果を打ち出し、観光資源と

して白良浜の新たな利用方法を探ることが目的。実際に歩いて今後の計画の参考にしようとする関係者に呼び掛けた。

午前6時から参加者は思い思いの方向に約30分間砂浜を散歩した。

その後の朝食会で参加者は「気分転換や運動に

なった」「靴を脱いで歩くと、足が伸び伸びする」

「ストレッチ発散できる」

「朝日の美しさもアビールしたい」などと感想を述べた。一方で「けが防止など安全対策が必要」

「砂浜の汚れが目立つ」との問題点を指摘する意見もあった。

小竹理事長（61）は「素足で歩くことの気持ち良さを分かってもらえたと思う。医学的効果が立証できれば、互いに協力して本格的に実施したい」と話した。

旅館組合では今後、大学の研究グループを招いて、歩く前後の健康状態を比較するなどの調査を重ねる予定。調査期間は半年間を見込んでいる。健康への効果が実証されれば、来年5月にはまとまった結果や具体案を発表し、白良浜を訪れた人が自発的に楽しめるように提案していく。



素足で砂を踏みしめ、感触を味わいながら歩く（8日、白浜町の白良浜で）